

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 小林 光昭
編集人 高山 浩

2016年
4月1日
第372号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

今年もまた、リニアのための賃上げ抑制！

2016年度賃金引き上げ交渉を集約

本部は3月28日、2016年度賃金引き上げ、夏季手当および諸要求についての交渉を集約し、会社に妥結を通告しました。

本部は2月12日、基本給の一律6000円引き上げ、定期昇給制度の是正、夏季手当3.5ヶ月分支給、出向先会社の労働条件改善などを柱とする要求を『申第18号』として会社に提出しました。

交渉は2月23日の第1回団体交渉からスタートし、再申し入れを含め7回の団体交渉を行いました。消費税10%、物価上昇等による実質賃金の目減りに対し、企業に対する法人税減税や好調な業績により支払い能力が十分にあることから、満額回答を強く求めました。

会社は「当社の賃金水準は世間相場と比較して既に相当高いレベルに達している」「2年連続でベアを実施しており、合理的、客観的理由は見出せない」「固有の経営課題を考慮すれば、引き続き経営体力を可能な限り強化しなければならぬ」と主張し、意見は対立のままとなりました。会社は、昨年同様「固有の経営課題」つまり、リニア中央新幹線建設のために賃金抑制を行うと表明したのです。

会社は3月17日、第6回団体交渉で「35歳ポイ

ントの基準内賃金を定期昇給とは別に1000円(0.31%)引き上げる。夏季手当については支給月数を3.05箇月とする」という、要求をはるかに下回る回答を行い、その他の要求については改善を行いませんでした。本部は席上、回答について大いなる不満を表明し、同日、再申し入れとして『申第21号』を会社に提出

しました。

3月25日、第7回団体交渉を開催し、会社に対して回答を撤回し満額回答を粘り強く迫りました。が、会社の態度が変わることはなく、全ての項目で対立を確認しました。

本部は持ち帰り検討した結果、JR東海ユニオンの低額・先行妥結をはじめとする否定的現実を踏まえ、これ以上の前進

は勝ち取れないと判断し妥結に至りました。

今次交渉において、職場から共に闘った組合員の皆さんに敬意を表すると共に、ご支援に対して感謝申し上げます。

本部は同日、配分交渉にあたり、賃上げ分1000円を基本給に一律に配分する要求を『申第22号』として提出しました。

戦争法廃止！

安倍政権の暴走許すな！

日比谷大集会に積極的に参加！



戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会（「総がかり行動実行委員会」主催の「戦争法廃止・安倍政権の暴走許さない3・19総がかり日比谷大集会」が3月19日、日比谷野外音楽堂で開催されました。

集会には、5600名の市民・労働者が結集しました（主催者発表）。JR総連からは150名、JR東海からは21名が参加しました。

集会は、政党からの挨拶や、各界からの発言が行われました。その後、銀座方面から鍛冶橋までパレードを行いました。

JR総連は、戦争法廃止を訴えながらパレードを貫徹しました。

電 力

今日から電力自由化がスタートした。電力自由化に参入した企業が数多くあり、割引を謳い文句に宣伝を繰り返している。どれを選択するのか、そのまま従来の電力会社にしたままにするのか、迷っている人がいると思う。

筆者は、原発再稼働を画策している現在の電力会社をやめて、別の会社に変更した。しかし、原発再稼働を進める電力会社は、電力料金を抑えるために、化石燃料を節約して原発に依存する方向に進むと言われている。自由化は平等のイメージがあるが、実はそうではない。核燃料処理、原発事故の収束作業や保証まで含めた費用を料金に反映させてこそ、平等といえるのではない。その意味では、電力会社は国策により優遇されているのだ。電力は需要量のすでに3分の2が自由化されており、残る3分の1が今回の自由化であるが、需要家数でいえば、80万件から80万件になるといえる。このうち何件が乗り移りするかは分からないが、原発再稼働の賛否を問う数字に繋がるのではないだろうか。▼大津地裁は3月9日、高浜原発運転差し止めの画期的な命令を下した。これを期に、原発に再度注目し、電力自由化に目を向けてみたらどうだろうか。

